11 静岡市地域交通持続化に向けた共同配車室構築事業 ｜静岡ひかりタクシー株式会社

プロジェクト概要

静岡市においてタクシー事業者3社が連携し、共同配車に向けたスキームを構築する。配車機能および関連設備を集約し、地域アプリと電話配車を併用した体制を整備することで、高齢者やデジタル弱者への対応と利便性向上を両立する。繁閑差の大きい需給に対応可能な効率的配車体制を確立し、持続可能な地域交通基盤の構築を図る。

課題

- 静岡市では高齢化やバス路線減少、終バスの繰上げにより夜間や郊外で交通空白が発生している。一方、クルーズ船寄港等によりインバウンド需要が増加し、時間帯や時期による需給差が拡大している。人材不足や人件費高騰に加え、配車機能が大手アプリに依存しており、地域としての安定供給体制の構築が課題である。

取組内容

【共同配車組織の立上げ】

- 各タクシー事業者の車両に、電脳交通の配車管理システム「DS」を導入
- 共同配車室立上げガイドラインに基づき、配車業務が非効率な特定曜日/時間帯にて事業者横断の共同配車スキームを構築
- 配車業務の集約（一部アライアンス配車も想定）を行ったうえで、外部サービサーへ配車業務を委託し、業務効率化とコスト削減を図る
- 共同配車のスキーム及び配車依頼時間については関係事業者間で調整のうえ決定
- 地域版の配車アプリを導入し、共同配車業務に組み込む

【共同配車体制の周知】

- 共同配車体制の開始や地域アプリの開始にあわせ、利用者向け広報を実施
- 地元メディアへのプレスリリース等やSNS広告等により認知向上を図る

事業要件

- システム統合による業務効率の向上（共同化）

技術要件

- タクシー共同配車業務運用ガイドライン

効果

- 共同配車体制と配車業務の外注により、配車業務の効率化と人件費削減を実現し、夜間・早朝の省人化や自動化を可能とする。地域アプリの普及により安定的な配車供給を確立し、利用者の利便性向上と法人利用の拡大が期待される。事業者間の連携によりサービス品質を底上げし、地域交通の持続性向上につながる。

事業実施自治体・エリア

静岡県 静岡市

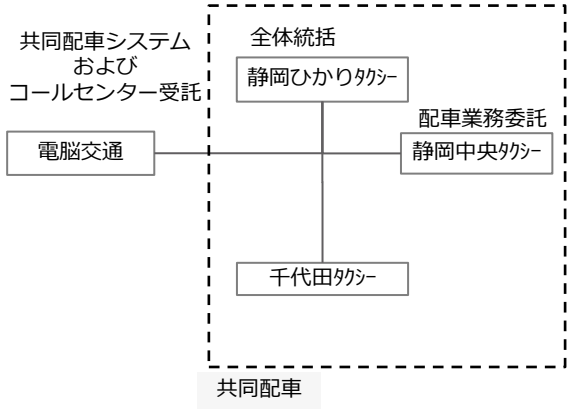
交通事業者

タクシー ： 静岡ひかりタクシー、千代田タクシー、静岡中央タクシー

アプリ・システム等

- ■ アプリ・システム：配車管理システム DS 地域版配車アプリ
- ■ データの取得方法： ー
- ■ データの活用方法： ー

座組



スケジュール

4～5月 要件定義

6～8月 配車システム/地域アプリ導入

7～1月 プロモーション実施

7月～2月 共同配車開始（外部委託）

2月 効果測定

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.